

OT

作業療法

Occupational Therapy

Kanagawa Association of Occupational Therapists



一般社団法人 神奈川県作業療法士会
事務局：〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル 301号室
Phone & Fax : 045-663-5997
Official Web Site : <http://kana-ot.jp>

一般社団法人
神奈川県作業療法士会



O

作業療法

Occupational Therapy

T



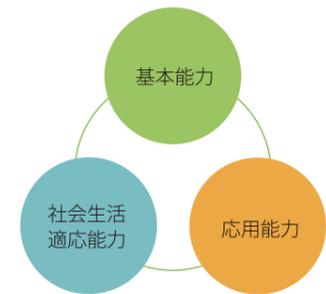
Q. どのような方が OT (作業療法) を利用しますか？

A. 子どもからお年寄りまで、生活に障がいを持つすべての人に関わります。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 身体に障がいのある人 ・脳卒中 ・骨折等の外傷 ・リウマチ ・脊髄損傷 ・その他の傷病 | 発達期に障がいのある子ども ・脳性麻痺 ・知的障がい ・自閉症 ・学習障がい ・その他の障がい | 心に障がいのある人 ・統合失調症 ・(躁)うつ病 ・高次脳機能障がい ・認知症 ・その他の精神疾患 | 高齢期で障がいのある人 ・認知症 ・脳卒中 ・骨折・変形性関節症 ・長期安静による機能低下 ・その他の傷病 |
|---|---|---|---|

Q. OT (作業療法) では何をしますか？

A. 3つの能力を維持・改善します。



- **基本能力**
・身体機能、精神機能
- **応用能力**
・食事やトイレなど、生活で行われる活動
- **社会生活適応能力**
・地域活動への参加、就労や復職・就学の準備



Q. OT (作業療法士) はどこにいますか？

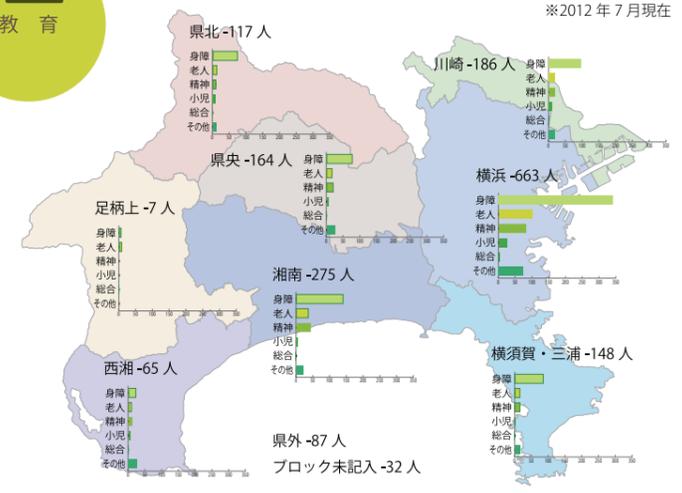
A. 生活に障害を持つすべての人に変わり、医療の他にも幅広い分野で展開されています。

神奈川県内の作業療法士は平成 24 年度現在、約 1,800 名います。医療分野（病院やリハビリテーションセンターなど）のみではなく、保健 / 福祉分野（行政機関・就労支援機関・介護老人保健施設等・療育センター等）や、教育分野（特別支援学校・幼稚園や保育園）など、幅広い分野で作業療法士は活躍しています。



神奈川県の OT 分布ブロック別人数

※2012 年 7 月現在





病気やけがにより身体に障がいをもった方に対してリハビリテーションを行います。

作業療法士はからだやこころの基本的な機能の改善を援助するとともに、食事・着替え・トイレ・入浴など、日常生活の練習を行っていきます。またその方の生活に合わせて家事の練習や仕事への復帰を目指した支援を行います。



撮影協力：さがみリハビリテーション病院・横浜新都市脳神経外科病院

急性期

Acute Phase

病気やけがの初期はからだの状態（血圧や身体症状等）が不安定であり、集中した治療や全身管理が必要となる時期です。早期からリハビリテーションを開始することで、体力や筋力の低下を防ぎ、基本的な機能の改善を援助します。

回復期

Recovery Phase

病気やけがの状態が安定し、集中的にリハビリテーションに取り組んでいる機能の改善や、対象者それぞれに応じた生活能力の改善を支援する他、家族指導や自宅環境の工夫の提案を行う等、対象者をとりにくく生活環境も支援します。

維持期・生活適応期

Life Adaptation Phase

対象者それぞれの生活や生き方に注目しながら支援する時期です。家庭や社会生活の中で、その方らしい生活や生きがいを見つけ、豊かな生き方の実現に向けて支援していきます。

精神障がい

Persons with mental disabilities



病気によりこころ（精神）に障がいをもった方に対してリハビリテーションを行います。

作業療法士はこころやからだの基本的な機能の改善を援助するとともに、食事・着替え・トイレ・入浴など、日常生活の練習を行っていきます。またその方の生活に合わせて家事の練習や仕事への復帰を目指した支援を行います。



撮影協力：港北病院・藤沢病院・横浜市総合保健医療センター 他

急性期・回復期

Acute & Recovery Phase

病気により、こころの状態が不安定となり、人とのコミュニケーションや判断力等の考える力が低下します。作業療法では様々な作業活動を手段として生活にめりをつけて、こころの回復を支援し、生活していくために必要な対人関係・社会適応能力の改善を援助します。

維持期・生活適応期

Life Adaptation Phase

家庭や社会生活の中で、その方らしい生活が継続できるように援助します。デイケアではグループ活動を中心に、仲間づくりや活動を通して病気の自己管理ができるよう支援したり、就労にむけての支援・準備を行います。訪問では在宅で健康管理や生活状況に合わせた活動（携帯電話の操作や家事等）の練習を行います。

発達障がい

Developmental Disorder



からだやこころの成長・発達に障がいをもったお子さんに対して
リハビリテーションを行います。

作業療法士は、先天的な病気や出産時のトラブル、乳幼児期の病気などにより、発達段階で障がいを抱えたお子さんに対して、からだやこころの基本的な機能の発達や改善を援助します。また、乳幼児期の子育て支援や学齢期の学校生活支援、社会生活支援など、さまざまなライフステージにおける社会参加を支援します。



撮影協力：横浜市総合リハビリテーションセンター 他

乳児期～幼児期

学齢期～成人期

Infancy~Childhood

からだの障がいによる運動発達の遅れや、認知機能の障がいによる知的な発達の遅れ、発達障がいによりコミュニケーションの発達に問題がある乳幼児を支援します。遊びや日常生活活動を手段としたご本人への支援の他、ご家族や担当保育士等への相談・支援も行います。

School Age~Adulthood

障がいを抱えた児童生徒や青年の、学校生活や社会生活を支援します。発達障がいがあるお子さんの中には、手先が不器用で図工や音楽・体育が苦手だったり、落ち着きがなく授業中に離席が多い児童生徒もいます。道具の使い方の支援や環境を工夫することで、児童生徒の適応を支援します。いくつかの神奈川県立の特別支援学校では、作業療法士が「自立活動教諭」として勤務しています。作業療法士が教員と協働して、学習のみでなく、食事や衣類をたたくなどの日常生活活動への支援も行っています。

これから活躍が注目される分野

Areas to grow



① 行政機関での介護予防活動

病気の予防・健康の維持も、豊かな生活を支援する為にとっても大切なことです。

市役所や地域包括支援センター等の行政機関でも、作業療法士は運動機能の向上や認知症予防などの介護予防の指導を行っています。



② 就労支援

からだやこころの病気を持ちながらも、「働きたい」と希望する方に対し、仕事につくための準備を支援します。

作業療法士は対象者への援助の他、他機関と協力しながら実際の職場での支援も行います。



③ 災害後の支援活動

東日本大震災など災害後の避難所・仮設住宅生活となり、運動不足や転倒等による筋力低下や腰痛・うつ症状など、からだやこころのケアを必要とする方々がいらっしゃいます。

作業療法士は、個別支援や集団活動、環境への働きかけなどを通じて暮らしに不自由が減るよう、支援していきます。



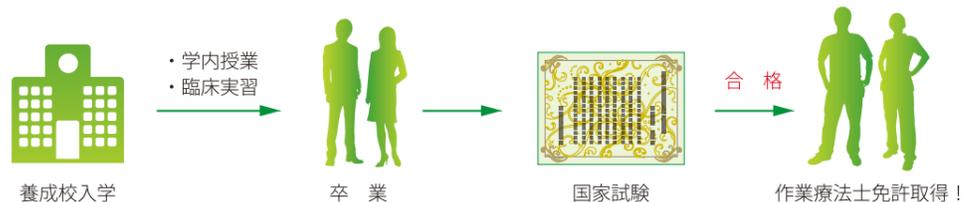
How to become OT



作業療法士の養成教育について

作業療法士になるための養成校は、全国に約170校、神奈川県には7校あります。養成校は大学・専門学校などがあり、修業年限は4年です。

養成校を卒業すると国家試験の受験資格が得られ、国家試験に合格すると厚生労働省より作業療法士の免許が与えられます。



授業の様子①



授業の様子②



授業の様子③



実技講習①



実技講習②



臨床実習

神奈川県養成校マップ



神奈川県養成校一覧

※2012年12月現在

- ① 北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 / 〒228-8555 相模原市北里 1-15-1
- ② 昭和大学 保健医療学部 作業療法学科 / 〒226-8555 横浜市緑区十日市場町 1865
- ③ 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 / 〒253-0083 茅ヶ崎市西久保 500
- ④ 横浜リハビリテーション専門学校 / 〒244-0801 横浜市戸塚区品濃町 550-1
- ⑤ 横浜 YMCA 学院専門学校 / 〒231-8458 横浜市中区常盤町 1-7
- ⑥ 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 リハビリテーション学科 / 〒238-8522 横須賀市平成町 1-10-1
- ⑦ 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科 / 〒250-8588 小田原市城山 1-2-25

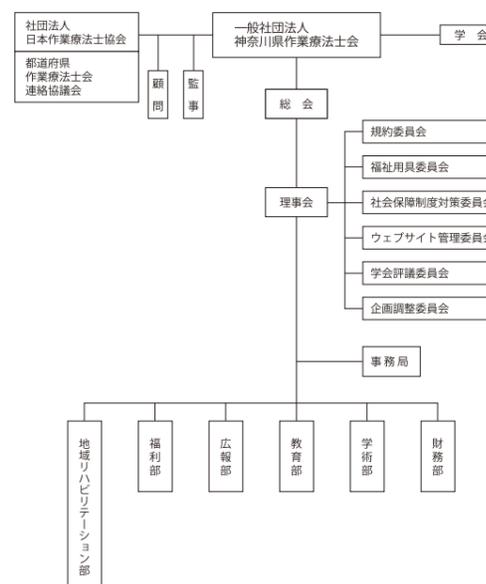
※神奈川県作業療法士会のホームページでもご案内をしています。
TOPページのINDEX【一般の方】/作業療法とは?よりご覧ください。右ページ▶

KAOT (Kanagawa Association of Occupational Therapists)



国家資格を有する作業療法士の多くは「日本作業療法士協会」や「神奈川県作業療法士会」等、職能団体に所属しています。私達神奈川県作業療法士会では、6つの委員会6つの部を設け、県内の作業療法士が常に学び、相談できるような教育・知識研鑽の場を企画・運営を行ったり、リハビリテーションや作業療法がより多くの方々を知っていただけるよう、広報活動を行っています。

神奈川県作業療法士会 組織図



学術活動

作業療法士は経験年数を問わず、常に新しい知識を深めるために研修会に参加しています。当士会では、積極的に新人教育プログラムの開催の他、研修会等の企画・運営を行っています。



県士会ホームページ

当士会の公式ウェブサイトでは、作業療法士や医療関係職種の知識研鑽に関する情報提供の他、「OTを知りたい」「これからOTになりたい」方のために作業療法士の説明や学生・臨床作業療法士の声を聞く事ができます。ぜひご確認ください。

URL- <http://kana-ot.jp/>

神奈川県作業療法士会



広報活動

当士会では様々な広報活動を行っています。活動は「健康に興味ある県民への活動」「作業療法士を目指す学生への活動」「関連職種への活動」を対象に、福祉用具の相談やガイダンスなど、様々な企画を行っています。



学生向け企画「作業療法ガイダンス」の開催



作業（革細工）体験ブースの出演



予備校主催のイベントで相談ブースの出演



ラジオ番組への定期出演